



森山浩行議員 (民主、左)



宮本岳志議員 (共産、奥)



山下芳生議員 (共産、右)

国会行動

一体改革で受診抑制深刻 負担減と診療報酬増など要請

協会の下井戸昭介副理事長、古田光行監事は、患者負担軽減や診療報酬増、医業税制の措置存続などを求めて9月22日に大阪選出議員に歯科医療現場の声を届けた。

面談は、森山浩行(衆民主)、宮本岳志(衆共産)の各議員。協会は森山氏に対し、「与党が進める社会保障一体改革は、大幅な患者負担増となり、深刻な受診抑制が起る。与党内から歯科医療現場の声を上げてほしい」と訴

えたほか、医療・介護の診療報酬同時改定についても改善を要請した。宮本氏は、一体改革について、「国民や患者の負担を増やし、税金を引き上げるというところでない内容で言語道断だ」と反対の立場を明確にした。

要請議員一覧

【面談】衆院 民・森山

- 進、共・宮本岳志 参院 共・山下芳生 【秘書対応】衆院 民・大谷信盛、平野博文、長安豊、萩原仁、樽床伸二、熊谷貞俊、熊田篤嗣、中野寛成、長尾敬、渡辺義彦、吉田おさむ、中川治、藤村修、稲見哲男、辻恵、辻元清美、樋口俊一、大谷啓、村上史好、松岡隆隆、自・松浪健太、柳本卓治、谷畑孝、西野あきら、竹本直一、近藤三津枝、公・佐藤茂樹、池坊保子、共・吉井英勝、社・服部良一、無・中島正純 参院 民・梅村聡、尾立源幸、藤原正司、自・北川イッセイ、谷川秀善、公明・白浜一良、石川博崇、山本香苗 (敬称略・順不同)

9月度生涯研修講座

歯周・インプラント 治療の血液供給 術式の選択・評価・方法を解説



血液供給を理解すれば歯周外科の選択の幅が広がる、と語る信藤孝博氏。9月11日、M&Dホール

臨床・学術部は9月11日、吹田市開業の信藤孝博氏を講師に迎え、「歯周治療・インプラント治療のためのBlood Supply(血液供給)」をテーマに生涯研修講座をM&Dホールで開いた。

信藤氏は先に、歯周組織再生療法やインプラント治療が飛躍的に発展してきたが、臨床術式を考える際、インプラント体や骨補填材だけが一人歩きし、アクティブサイトである生体の基本的反応を理解することがおろそかになる傾向が否めないと述べた。

講演は歯周組織の基礎からみる臨床であったが、従来の組織切片では知り得なかった治療の力スケードを微細血管類型とSEM(走査電顕)を用いた血液供給にスポットを当てた歯周外科及びインプラント術式の選択、評価、方法であった。

臨床・学術部は、人材育成コンサルタントの松田幸子氏を講師に「デンタルスタッフのための患者接遇マナー」を9月4日にM&Dホールで開き、65人が参加した。

マナー講習会開く 心を表現すること重要

松田氏は冒頭に、「マナーとはホスピタリティを形にし、表現したものである」と定義した。ホスピタリティとは「温かいもてなし」「歓待」「厚遇」など、目に見えない心

指導の最新動向を学ぶ。北大阪地区と三島地区は合同で「最近の審査・個別指導事例にみる今後の展開と対策」を9月4日、吹田市民会館で開いた。講師は、吉田裕志社保研究部長が務め、20人が参加した。

指導の最新動向学ぶ カルテの整備が必要

行政機関が医療費抑制の本命題のもと、個別指導の強化で自主返還を求めてくる事例が増えている。その端緒が、高点数レポートや患者・スタッフからの情報提供などであるが、そこには大阪と他府県の違いがある。普及、得ることのできない有益な情報や具体的な例を聞くことができた。吉田氏は、法的な根拠で指導・監査に入っていくため、我われはよき医療者として襟を正すべきところを正しながら、カルテ記載を整備することが必要と述べた。

物件案内

歯科医院貸与 【所在地】南海高野線「千代田」駅徒歩5分 【条件】 歯科用設備売却(賃貸も可)、建物賃貸。85平方メートル。1日平均患者数28人、チェア3台、技工室・駐車場有。電話連絡の上、資料を送付 【連絡先】 協会新聞部 協会は紹介のみいたします。

34th 今年もやります! 医療とくらしの一大イベント! 協同組合まつり 被災地・大阪 心はひとつ 2011.10.8±9日 8日/10:00~18:30 9日/10:00~17:00 マイドームおおさか 2F・3F